



いせはら 生涯学習 ボランティア協会ニュース

第 277 号 2024 年 3 月号

会長 三上 利榮

伊勢原市三ノ宮 362-6

第 21 回いきいきシニア伊勢原まつり盛大に行われる！

(いせはら市民大学第 2 回補講)

会場準備が全て終了し、垂れ幕の下がった会場に、お客様の入場です。そして定刻、司会者の挨拶で、第 1 部オープニングの踊りや歌の始まりです。

最初の出し物は「悠遊亭」皆様の踊りで、揃いの着物と菅笠で元気に 3 曲踊られました。次に歌手小倉恵子様のお唄「ああ太田道灌」等 3 曲を熱唱され、皆様拍手喝采でした。次は「スマイルクラブ」のダンス 1 曲・合同で「花は咲く」の披露がありました。最後は「甲冑隊」による伊勢原の武将 5 人衆、法螺貝を先頭に口上の始まりです。「岡崎四郎義実」岡崎城を築城し、三浦一族の本拠であった。北條早雲の猛攻で落城し、西方 1 キロの所に墓が有る。石田次郎為久は木曾義仲を一矢で射止めた剛勇で、石田の円光寺に墓が有り、いせはら市民大学講座でも 10 月に見学して来ました。次に、糟谷藤太有季は、北條義時との戦いで討ち死にした。最後まで奮戦し、その様子が『愚管抄』に記されている。4 番目は、善波太郎重氏ですが、平安末期の豪族で三島神社の所帯が領地であった。串橋集落に祠が有り善波太郎の墓と言われている。最後は伊勢原市民にとって一番親しみの有

る、そして誇れる太田道灌です。江戸城を築城し、武将としても学者としても一流で有った。しかし、最後は不運にも暗殺され 55 歳で生涯を閉じました。

第 2 部に移り学ボラ・観ボラの会長挨拶では、歴史博物館の建設を要望する内容で始まり、教育長の挨拶に続き後藤祐一様より、「素晴らしい活動に敬意を表します」と挨拶が有りました。

第 3 部は、こまちゃんの紙芝居から始まりました。良弁僧正の話で驚に連れ去られた少年が後の良弁で奈良では東大寺を、伊勢原では大山寺の開祖とも言われている。次に手品ですが、大人の私達もドキドキし、大笑いしながら楽しい時間を過ごさせていただきました。トリを務めて頂いたのが、昔々亭喜太郎さんの「時蕎麦」の落語でした。勘定の際 16 文を 15 文で済ませたのを見ていた 1 人が、同じ口上で時を間違えたために多く払ったと言うお話でした。そして全員が、大笑いで本日の演目全て終了となりました。本日の入場者は約 160 名の盛況でした。華を添えて頂いた皆様、一般入場者の皆様そして観ボラ・学ボラの皆様、本当に御出席ありがとうございました。(第 19 期生 T, T)



悠遊亭



スマイルクラブ



甲冑隊



小倉恵子さん



こまちゃん



マジッククラブ



昔々亭喜太郎さん

令和5年度「第4回人権セミナー」(いせはら市民大学第3回補講)

「人生100年時代を楽しく生きるために」

～それぞれのウェルビーイングを考える～

講師は元秦野市教育委員会教育長の金子信夫氏で、昭和23年生まれで76歳。校長の経験もあり、話はわかりやすかった。ウェルビーイングという言葉の意味は「心身とも健康で充実した生活を送ることができている状態」とのこと。大谷翔平選手の高校生の時の目標達成シートに学ぶと言うことでウェルビーイングの目標達成シートを示し、大切な8要素として、①健康な体、②豊かな人間性、③人権感覚、人権意識、④自己肯定感、⑤自己分析、⑥向上心、⑦コミュニケーション力、⑧社会人基礎力をあげてそれぞれの項目のさらに詳細な達成項目を8個ずつ示されていた。特にその中でコミュニケーション力では4要素「聴く」「語る」「自己開示」「言葉以外」が重要で「聴く」は「耳」+「十四」+「心」で受容、共感、肯定、理解、信頼、ゆったり、関心、先入観なし、謙虚、優しい、好意的、誠実、対等、感謝の14個の心で聴く。「語る」は「言」+「吾」で自分の言葉で素直に、率直に自分の思いを込めて体験・経験を踏まえ具体的に話す。「自己開示」は胸襟を開

いて、腹を割って建前ではなく本音で失敗や欠点を隠さず。「言葉以外」では「人柄」「品性」などで笑顔が最も重要と話されていた。途中グループごとで自己紹介の時間があった。また「公平」と「平等」の違いや「多様性」を認めることが戦争回避の鍵になることが話された。より客観的な「自己分析」のために「交流分析」があり、幼児期に両親等に形成された自我と成長ともに経験的に習得した自我と本能、幼児体験等に支配される自我の3つの自我のバランスから自分の性格・心理傾向を知ることが出来ると言うことで、参加者が自分のエゴグラムの作成に挑戦した。最後にグループの人に自分の結果を示して時間切れで講演会は終了した。講師の先生も心配していたが今の子供達が大人になったときに戦争のない世界にすることが出来るかは今の大人の責任だと言うことを自覚しました。まだ文字が読めて考えることも出来るうちにウェルビーイングを考えるのも楽しいと思うのでぜひ皆さんも挑戦してみてください。

吉川義博記

第10回いせはら市民大学講座

～射撃場、雨岳文庫、三ノ宮博物館を修学旅行～

今回は市役所のバスに乗って市内を見学する修学旅行とも言われている郊外学習です。

2月8日木曜日、9:30に市役所を出発しました。最初の訪問は【神奈川県立伊勢原射撃場】です。場長さんからの楽しい説明で施設内を見学しました。1972年に横浜より大山ICから3分の現在の場所に移管された射撃スポーツの体験と修練ができる施設です。ライフル射撃場とクレー射撃場があり施設利用には銃砲所持許可証が必要です。射撃は精密な技術と体力だけでなく、高い集中力を維持することが求められ、ライバルよりも自分自身と戦うスポーツと言われているそうです。銃の発射音に圧倒されながらも、銃の保管等の厳しい法規を遵守しなければならぬ高尚なスポーツであると分かりました。



於 射撃場

2番目の訪問は【雨岳文庫(山口家)】です。雨岳文庫とは山口家主屋、付属家屋、歴史資料(山口家文庫)を合わせた総称で、雨岳とは大山(雨降山)のことで山口家8代当主の雅号でもあります。山口家は苗字帯刀を許された地主で、主屋は1834年(天保5年)に建築され、1864年(元治元年)に上粕屋石倉から500m離れた現在のメ引に曳家(住居を建ったまま引っ張って移転すること)されています。木造2階建の大規模民家で1階には広い土間と床間等を設けた座敷があり障壁画や欄間があります。2階は殿様の休憩所にされたもので精巧な細工が施された数寄屋造で県の有形文化財に登録されています。明治以降は宮様の宿泊所とされたり、自由民権運動の活動の場にもなりました。



於 雨岳文庫(山口家)

(次頁に続く)

最後は【三ノ宮比々多神社郷土博物館】です。1953年（昭和28年）に先代宮司により宝物館として創設されたものです。神社の付近から出土した遺物は多く縄文時代のものもあります。現在、縄文弥生時代の土器類、装飾品、中世から近世にかけての神社伝世資料等約2000点が保存展示されています。中国由来のものもあり、中国大陸、朝鮮半島、奈良王朝を経て伊勢原にたどりついたものもあり、伊勢原はシルクロードの終点ではないかとも言われているそうです。古代の伊勢原人はどのような生活をしていたのかと思いを巡らせてしました。

15:00 市役所に戻り解散となりました。

天気にも恵まれ射撃場周りの澄んだ森林、山口家の梅林も見事でした。講座も10回目となり受講生も互いに打ち解けワイワイガヤガヤしながら見学したり、持参のお弁当を食べ合ったりしたと有意義な講座でした。最後にガイドの諏訪間様、運転手の大場様ほか関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



於 三ノ宮比々多郷土博物館

清水 記

加入団体代表者・オブザーバー交流会を開催

新年早々の令和6年1月18日、伊勢原シティプラザ1階会議室において新年の挨拶を兼ね代表者が出席して開催されました。

この団体交流会はかつて、現社会教育課専門員でおられる「端山清」氏の指導を受けた市のボランティアリーダー養成基礎講座1・2・3期の修了生たちが、市民・ボランティア活動（1期生がオンリーワンネットワーク、2・3期生がいせはら観光ボランティア&ウオーク協会「観ボラと称す」活動等）をやりながら生涯学習を日常的に目指し生き生きと暮らすために仲間の絆を強めつつ、健康・生きがいを求めて各7団体・3オブザーバーの計10団体が、主幹となるいせはら生涯学習ボランティア協会「学ボラと称す」

に加入して相互の交流を図り、強い仲間意識で自己実現と市民・ボランティア活動を活発にしようとの趣旨で結成され、昨年までは各団体の定期総会終了後に年1回開催されていましたが、本年から新春1月と夏季7月の2回開催されることになりました。

交流会次第に従って、出席者の自己紹介・主管の学ボラ三上利榮会長の新年と交流会の意義、当面の交流活動等についての挨拶に続いて来賓の前田秀資伊勢原市議会議員兼観ボラ副会長が「市民要望実現の方策」と題して、本交流会の長年の懸案・要望事項であり、かつ伊勢原市民として当然関心を持ち続けていかなければならない重大事項について次の内容で講演をされました。

なぜ、歴史資料館(博物館)が無いのか？

ア 「文化」（主に文化財）に関する関連計画の取組みと変遷について

イ 伊勢原市の財政力が影響したと思われる幻の施設

①保健福祉センター ②陸上競技場（400mトラック）

③美術館 ④市営プール（室内）

ウ 首長の権限と意思決定（現職市長の特徴）

エ 行政と市民の関係性（共通認識の不足）

オ 実現への第一歩（方向性）

カ 伊勢原の歴史（文化財）とは？

について講演されましたが、詳細につきましては本紙面不足のため、次号に掲載させていただきますのでご了承ください。

（編集部 T. A.）



再 会

私の故郷は岩手県盛岡市です、北に岩手山、裾野に広がる小岩井農場、南に平泉中尊寺、東は三陸海岸、陸前高田の高田松原、宮古浄土ヶ浜海岸と自然豊かな美しい場所です。西に花巻、銀河鉄道の夜、雨にも負けず風にも負けず、風の又三郎を書いた宮澤賢治、又今野球で話題の有名な大谷翔平選手の故郷でもあります。東北育ちの私が故郷を離れて早50年今ではすっかり関東に馴染んで暮らしています。

さる1月19日従兄の告別式参列のため盛岡に帰省しました。再会を切望しながらなかなか果たせず50年目やっとその時が来ました。盛岡駅新幹線15時32分着、改札口に女性が立っていました。その女性こそ50年前に別かれた恵でした。やっと会えたねとハグ、思わず涙があふれ、言葉が出ませんでした、50年振りでの再会、恵と私は盛岡文化服装学院の学友、お互い

に恵子を恵、旧姓中村だった私を中、と呼び合った仲でした。駅構内の喫茶店で盛岡城址公園・小岩井牧場・高松の池等遊んだ事、市内の甘味処でのあんみつを食べたことなど懐かしく、積もる話に時の経つのも忘れ、短い時間ではあったけど嬉しく充実した再会となりました。

「又健康でいられたら会えるね。」と再会の約束をして別れました。

(H.H)



過日の恵と私（写真上）
於 小岩井農場

第19期いせはら市民大学講座開催予定表

回数	月	日	曜	時 間	講座名	講師・会場・他
補6	3	3	日	13時00分	学ボラ活動実践～市民音楽祭に協力参加 (実践講座)	文化会館大ホール
11	3	9	土	13時30分	修了式、記念講演と市大文化祭 (座学)	学ボラ 中央公民館3階会議室A

問合先；市民大学実行委員長 三上利栄 携帯080-5513-1016

役 員 会 議 予 定 表

No	月	日	開催曜日		開始 時間	行 事 内 容	該 当 者	場 所
			番号	曜日				
1	3	14	第2	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館会議室B
					14時	事務局会議		
2	3	28	第4	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館会議室B
					14時	役員会		
3	4	11	第2	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館会議室B
					14時	事務局会議		
4	4	25	第4	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館会議室B
					14時	役員会		